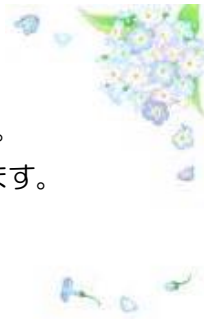


府立人研通信

大阪府立学校人権教育研究会
第3号
2018年6月26日発行

第1回研究部会にご参加いただき、ありがとうございます。



こんにちは。府立人研事務局です。
「府立人研通信」第3号では第1回研究部会のご報告をさせていただきます。
今回も多くの教職員の方々にお越しいただき、本当にありがとうございます。
雨の日が続きます。どうかご自愛ください。

第1回研究部会のご報告

6月1日（金）柴島高校にて第1回研究部会が開催されました！

教材部会

生徒たちの居場所をつくる

～「NPO 法人との協働」と
「児童生徒の自己肯定感を育む
支援学校の取り組み」～

報告

認定 NPO 法人 DXP(ディーピー)
府立今宮工科高校 定時制の課程
府立守口支援学校

第1部では、生徒たちの居場所をつくる取り組みとして今宮工科高校と守口支援学校での実践について報告をいただいた。



今宮工科
高校では認定
NPO 法人
DXP と協働
して、生徒た
ちにコミュニ
ケーション



ンのトレーニングや生徒同士の交流の場を設けている。DXP スタッフは生徒と交流する際、同じ目線に立ち、絶対に否定しないことを大事にし、人との関わり合いを持てるような場づくり働きかけを行っている。安心して本音を出せる雰囲気の中、信頼できる人間関係が構築されていく様子がうかがえる内容であった。

守口支援学校では、昨年度より校内での「あいさつ運動」を実施している。実施に当たっては小学部・中学部・高等部全体で実施することにこだわった。校内で元気よくあいさつをする生徒に刺激を受け、自分も頑張ろうと思う生徒が増える。あいさつをして回った生徒たちもそうした声を聞いて自己肯定感

を高めていく。生徒たち全体が活気づいていく様子がかがえた。実施に至るまでには様々な困難があったが、話し合いを続けることで全学部の協力を得て実現に至った。報告者の熱い語りと生徒たちの生き生きとした活動の様子を収めた写真が印象的であった。



第2部では、各学校から持ち寄っていただいた教材についての報告を行った。いずれもユニークなものが多く、ぜひ勤務校でも実践してみたいと思う教材ばかりであった。生徒たちの課題を見つめ直し、どのような取り組みが必要かを改めて考えるよい機会であった。

ケーススタディ部会 生徒支援へのアプローチ ～「WISC-IV」の可能性～

報告

府立高槻支援学校



第1部では、大阪府リーディングスタッフとして、三島地区の支援を必要とする小中高生を対象に年間50件ほど「WISC-IV」の検査・助言をされている高槻支援学校から「WISC-IV」の結果の活用方法の実践事例を通して、この検査の可能性についての報告をいただいた。言語理解・ワーキングメモリー・処理速度・知覚推理の分野から、本人の強みと弱みを知ることで、支援方法が具体的にみえてくる。試験時間の延長や拡大文字問題冊子の配布、そして進路決定のために受験上の配慮（別室の設定など）をすることで、生徒の可能性を広げることができる。

そのひとつとして、教員が「WISC-IV」を知ることは大事だとわかりやすく解説していただいた。

第2部では、少人数のグループを作って、「共に学び共に生きる」というテーマで、支援学校、共生推進や自立支援コースのある学校など各校間で情報交換を行った。校種を越えて、困りごとや解決実践方法など活発な意見交換がなされ、交流を深める有意義な時間となった。



進路保障部会

進路保障のあり方

～就職、労働現場に見る今日的課題～

報告

・大阪府商工労働部 雇用促進室 労政課
労政・労働福祉グループ

主 査 山 崎 聡さん

副 主 査 三 浦 絵 理 子 さん

・大阪府商工労働部 雇用促進室 就業促進課
就業支援グループ

(OSAKA しごとフィールド所管課)

課長補佐 上 山 英 明 さん

主 査 宮 本 明 奈 さん

就職差別撤廃月間初日、進路保障部会では、第1部では、府の商工労働部 雇用促進室 労政課 労政・労働福祉グループより、近年の問題事象や労働に関する相談、企業の公正な採用選考の推進についてお話しいただいた。

まず、全府立学校に配付されている『採用と人権』の冊子を用いて、就職差別につながる恐れ



のある 14 項目と、公正採用に係る取り組みの歴史を確認した。

また、近年、実際に起こったとんでもない就職差別事象と、その後の行政指導がどのようになされているのか、府独自の取り組み（公正採用・雇用促進会議〈雇促会〉、大阪府下大学等就職問題連絡協議会〈大就連〉等）の紹介があった。在学している生徒だけではなく、卒業生が就職活動で相談に来た際の各種相談窓口について、「総合労働事務所」の活動も紹介された。

第 2 部では、府の商工労働部 雇用促進室 就業促進課 就業支援グループより、OSAKA しごとフィールド（エル・おおさか 2・3 階）の施設概要やあらゆる求職者を対象に行われている充実した就労支援メニューについて説明があった。

特に、就職に困難性を有する求職者等への支援として取り組まれているキャリアカウンセリング、職業適性検査、職場体験を組み合わせた専門性の高い支援プログラムは、現在府立学校に在籍している生徒でも参加可能なものもあり、関心が集まった。



昨年 11 月に行われた「大阪 LGBT100 人会議」の様子もお話しいただいた。会議で実施されたアンケートの項目には LGBT 当事者が実際に仕事を探す上での困り事や仕事をする上での困り事、あったらいいなと思うサポートなど、府立学校の LGBT 当事者生徒に当てはまるものも多く、生徒が安全で安心な学校生活を考える上でも非常に参考になるものばかりであった。

質疑応答では、それぞれの報告について多くの質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがわれた。

生徒一人一人の就労と職業選択をめぐる支援の意義、今日的課題も含め、ますます高まる支援のニーズについて考えるよい機会となった。



2018 夏季セミナー 7月 25 日・26 日(水・木)

今こそ差別の現実から深く学び、生徒支援へつなげよう

夏季セミナーの開催案内は、6/26 全校への発送を予定しております。

全体会、各セミナー、分科会詳細につきましては、同日発送予定の「府立人研だより 6 号」に記載しております。その際、添付の用紙にてお申込みください。ぜひ、いらしてください。お待ちしております。

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島 1 丁目 7 番 106 号 府立柴島高等学校内

※通送便には「府立人研」とお書きください。

TEL・FAX

06-6324-3822 (直通)

※お問い合わせはできる限り Eメールをご利用ください。
お電話の場合は、火曜日をお願いします。

E-mail

furitsujinken@nifty.com

ホームページ

http://furitsujinken.in.coocan.jp/